感染症対策

麻しん（はしか）にご注意ください

症　状

感染すると約10日後に発熱やせき、鼻水といったかぜのような症状が現れます。２～３日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。

感染経路

空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻しんの免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

麻しんかな？と思ったら

医療機関に電話等で麻しんの疑いがあることを伝え以降は医療機関の指示に従ってください。医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

予防方法

ワクチン接種が有効です。定期接種対象者（1 歳児、小学校入学前1 年間の幼児）、医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が済んでいるかご確認ください。

！ 海外での感染にもご注意ください

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

厚生労働省

感染症対策課　2025年７月 作成